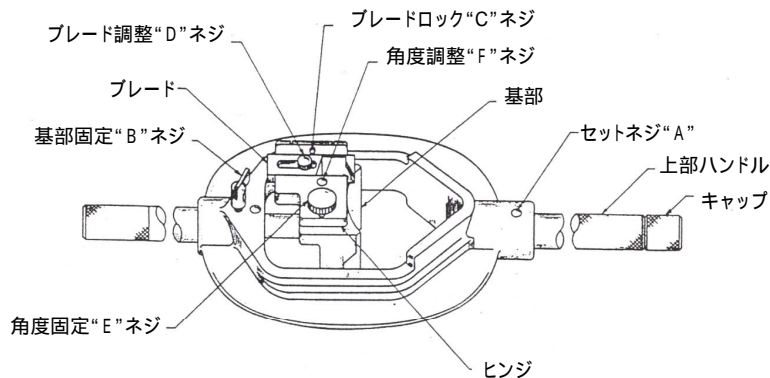
EA580BH(ケーブルエンドストリッパー)取扱説明書 (アメリカ)

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

◆ 仕様

当製品は地下にあるパワーケーブルの絶縁体などの被覆物を取り除く工具です。
適応ケーブル　φ51～101mm
切り込み被覆厚み　0.4～25.4mm
(ブレードの先端角度は切除する絶縁物の厚さによって調整します。)
全長　620mm　　　　　　　重量　3.2kg

◆ 構成

A. 運送時にかさばらないようにするため、2つの部分に分けられて梱包しています。
　上部ハンドルを本体に差し込み、 A ネジを付属の5/32"レンチで締めて固定します。
B. 各部調整箇所の詳細は下記の通りです。
　"B"ネジによる基部調整
　　このネジを緩める事によって基部箇所を各種のケーブルに合わせて調整します。
　"D"ネジによるブレード調整
　　このネジを緩める事によってブレードの先端を安全に適切な位置に設定できます。
　"C"ネジによるブレードの固定
　　"D"ネジによってブレードが正しい位置に背呈された後、このネジを使って固定します。
　"F"ネジによる角度調整
　　このネジはブレードのケーブルへの切り込み角度を調整するのに使います。
　　このネジには"E"の角度固定ネジと連動して使用します。
　"E"ブレード角度固定ネジ
　　調整ヒンジを固定します。

◆ ケーブルの準備

ケーブルの先端は適切なケーブルカッター、もしくはハクソーで直角に切断してください。
ケーブルの周囲を変形させない様にしなければなりません。

◆ 使用方法

1. "B"の基部調整ネジを緩めジョー部分を広げてケーブルがはまる様にします。工具の基部がぴったりと収まるように位置づけてから"B"ネジを締めてロックしてください。
　工具を時計方向に360°回しながら適当な遊びがあるかチェックしてください。こうする事によって工具が正しくセットされているかがわかります。もし、うまくセットされていなければ、もう一度"B"ネジを緩めたり締めたりして基部の遊びを調整してください。

2. ブレードのヒンジ調整は最初から工場セットされています。最終調整はブレードの調整がなされてからします。このヒンジ調整がセットされた後、最良の作業結果として、絶縁体の切れ端の薄さは約1/8"～3/16"の間になります。

3. 被覆物除去のためのブレードセット

ブレードの固定ネジ“C”を最初に緩めてから、ブレード調整ネジ“D”を緩めてブレードの位置をセットします。ケーブルの端末に工具を添えたままで、ブレードを上にスライドしブレード底面を絶縁体の最大外周から0.8mm位上の所に合わせて、セットします。
この位置で“D”を締め、“C”ネジを締めます。

工具を時計方向に回しながら被覆物が剥ぎ取られていく様子を観察します。多少の調整は刃の深さを調整する事で可能です。そのためには、また“C”から“D”の順番でネジを緩め、再度“D”から“C”の順で締めます。

必要ならば、ブレードのヒンジ部分を調整して、被覆物の削り取る厚さを調整できます。この作業をするにはブレードの角度固定ネジ“E”を緩め、その後に角度調整ネジ“F”を内側や外側に位置を動かして調整します。
設定が完了した後、固定ネジ“E”を締めてください。

ケーブルにシリコン潤滑油を使用すると、工具とケーブルの摩擦を軽減してスムーズに作業が行えます。

4. 絶縁体除去のためのブレードセット

ブレードの固定ネジ“C”を最初に緩めてから、ブレード調整ネジ“D”を緩めてブレードの位置をセットします。ケーブルの端末に工具を添えたままで、ブレードを上にスライドしブレード底面を導体から0.8mm位上の所に合わせて、セットします。
この位置で“D”を締め、“C”ネジを締めます。

工具を時計方向に回しながら絶縁体が剥ぎ取られていく様子を観察します。多少の調整は刃の深さを調整する事で可能です。そのためには、また“C”から“D”の順番でネジを緩め、再度“D”から“C”の順で締めます。

必要ならば、ブレードのヒンジ部分を調整して、被覆物の削り取る厚さを調整できます。この作業をするにはブレードの角度固定ネジ“E”を緩め、その後に角度調整ネジ“F”を内側や外側に位置を動かして調整します。設定が完了した後、固定ネジ“E”を締めてください。剥ぎ取りの裁量の厚さは1/8”～3/16”です。

ケーブルにシリコン潤滑油を使用すると、工具とケーブルの摩擦を軽減してスムーズに作業が行えます。

5. 切除作業をやめるには、手動の前進操作をやめるか、あらかじめケーブルにクランプをセットしておきます。ストップクランプはこう具の前進を止め、正確な長さで切除できます。

◆ ブレード交換

ブレード固定ネジ“C”を約3回ほどまわして緩めます。ブレード調整ネジ“D”を取り外した後に工具から古いブレードを取り外します。
新しいブレードを入れた後、前項記載のようにブレードの深さを調整し、“D”と“C”のネジを締めてきっちりと刃が取付けられているか確認してください。

◆ シェーブブレードの使用法(本体裏側にあるブレード)

セミーコン除去

端末ストリップのブレードのように、シェーブブレードは深さを調整します。
適正な調整深さを得るためには、2～3フィートの長さのケーブルが必要です。

工具をケーブルに設置する前に、全てのブレードが引っ込められている事を確認します。
ストリップ用ブレードは最も上の位置にセットしていなければなりません。
シェーブブレード刃基部の一番上にある白い線の位置でセットしてください。(図1)
ケーブルを削り取る部分はシリコンを使って滑らかにしておいてください。
工具をケーブルに設置します。表面をスムーズに削り取る事ができるようにぴったりとはめ込んでください。

カム・アームを下に動かしブレードを作業位置にセットしてください。(図2)
サム・スクリューを締めてブレードの深さを約1/8”に調整してください。(図3)
それから、ネジを再度締めます。
最初のブレードセットではセミ-コンを全て削り取る深さをセットします。
後でブレードを下げて絶縁体の中に食い込まそうとするよりも、上の方に緩めながら調整していく方が簡単です。
ケーブルを数インチ削り取ってください。
セミ-コンと一緒にほんの少しだけ絶縁体が削り取られるように、サム・スクリューを使ってブレードの深さを調整しなおしてください。

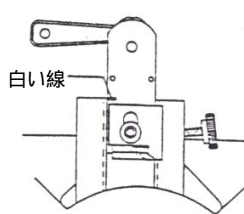
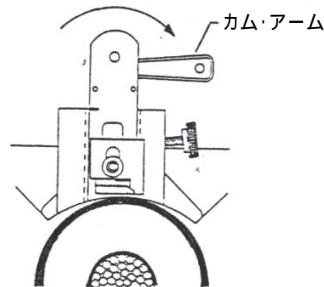
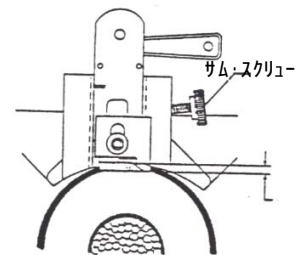
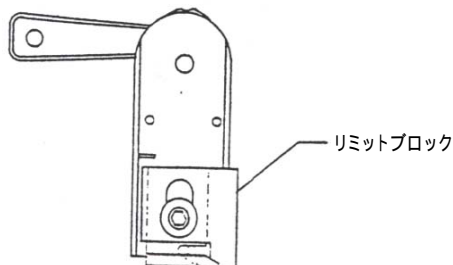



FIGURE 1　　FIGURE 2　　FIGURE 3

◆ シェーブブレードの交換

ブレードを取り替えた後で、ブレードを直接覆っているリミットブロックを組立てなおしてください。
底部の切れ込みはブレードの底面と揃えるように調整します。
この部品は削った切れ端の幅を調整します。

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3－8－14
TEL (06) 6532-6226　FAX (06) 6541-0929